

今号のテーマ:『酪農』

ホクレンへ生乳を委託していただく皆さまへ 生乳受託販売契約に関するお願い

ホクレンの生乳受託販売は年間を通じた安定取引が基本です。

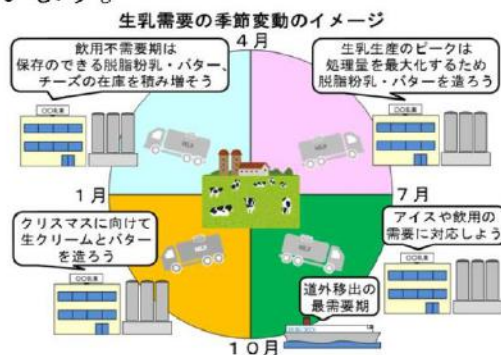
- 改正畜安法では、「年間を通じた用途別の需要に基づく安定取引※」を行うことが認められる事業者（指定団体等）に生乳を出荷する生産者に対し、生産者補給金が交付されることが定められています。 ※法施行規則第14条より抜粋

改正畜安法の目的（一部抜粋）

生産者補給交付金又は価格安定に関する措置を講ずることにより、**畜産物の需給の安定**等を通じた畜産経営の安定を図り、もって畜産及びその関連産業の健全な発展を促進し、併せて国民消費生活の安定に寄与すること。

改正畜安法の目的に適うよう、生乳を安定供給することが、ホクレンと、ホクレンに生乳を委託していただく皆さまの役割となります。

- ホクレンは、皆さまから委託された生乳を需要の季節変動に応じて販売することで牛乳・乳製品の安定供給に努めています。



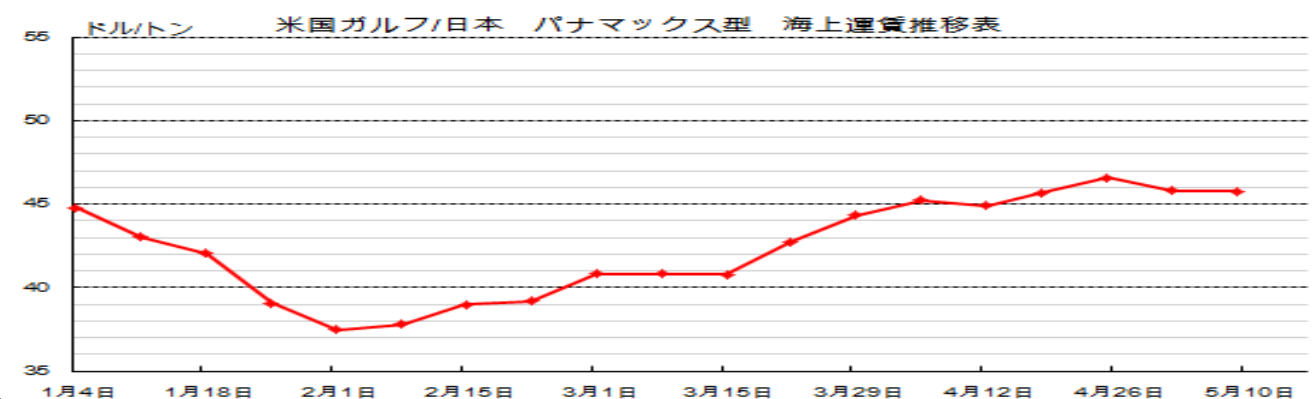
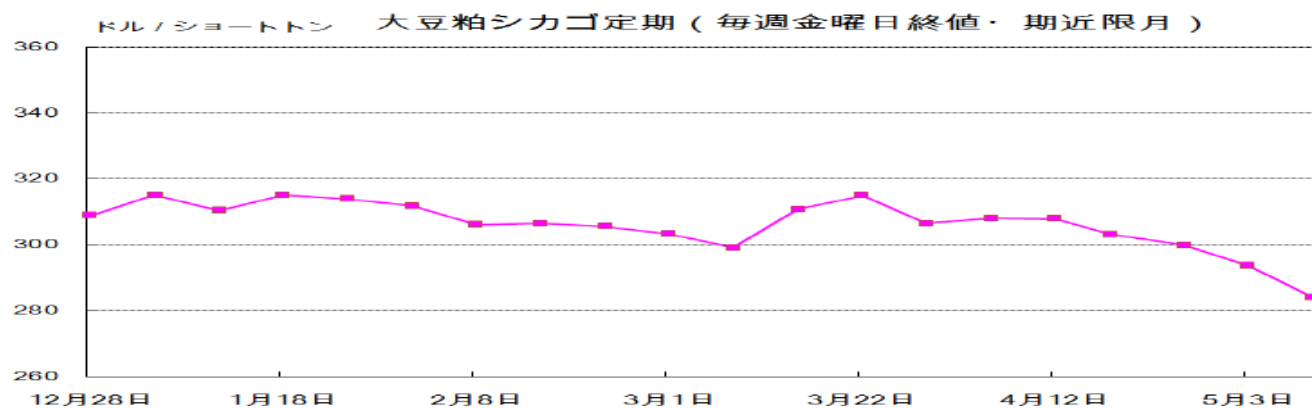
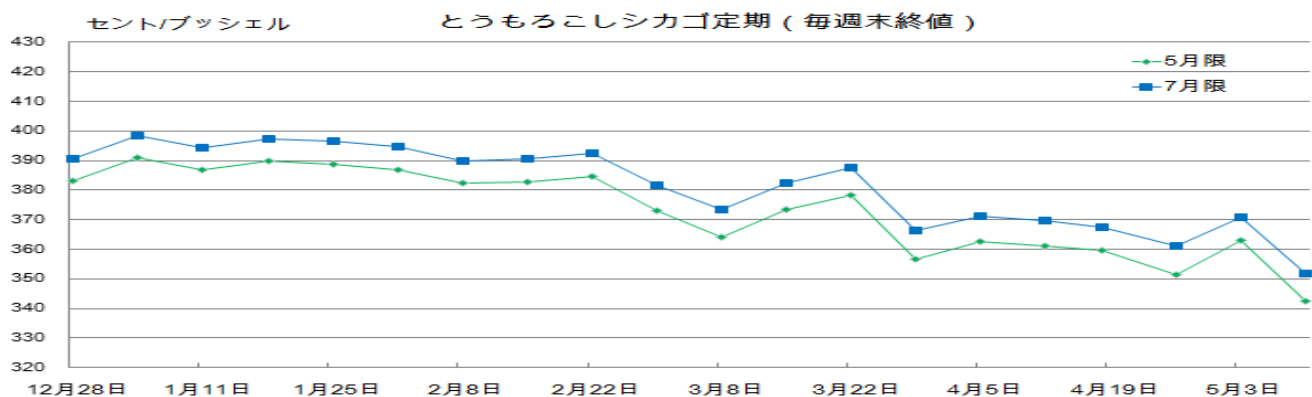
牛乳・乳製品の安定供給のため年間を通じた安定取引が重要です。

- 年間を通じた安定取引が損なわれる申出への対応
- ・法第17条において、指定団体は、取引の申出を拒んではならない旨を定款等に定めることを求められていますが、年間を通じた安定取引が見込めない場合等については申出を拒めることが定められており、**申出を拒むこと**を前提に協議し対応を決定します。
 - ・1年に満たない取引でも、受託販売に係る事業・設備維持のため年間を通じ発生する経費から算出される**共販事業維持負担金を求める場合があります。**
 - ・年間を通じた安定取引を損なう行為が繰り返された場合、**当該年度や次年度の委託の申出を拒む場合があります。**

年間を通じた安定取引により牛乳・乳製品を安定供給し、北海道酪農を持続的に発展させてゆきましょう。

【飼料原料情勢(5月)について】

1. とうもろこしのシカゴ定期は、4月は潤沢なとうもろこしの世界在庫や低調な米国輸出需要、米国中西部の天候改善期待を背景に軟調に推移した。5月に入ると、米国中西部では天候不良が続いており、作付遅延懸念の強まりから、シカゴ相場は上昇した。しかしながら、米中貿易摩擦に関して、トランプ大統領が対中関税を5月10日に引き上げることを表明したことや、5月度需給報告にて世界的に潤沢な期末在庫が報告されたことから相場は下落した。直近では、不明瞭な米国での天候要因を背景に上げに転じている。
2. 大豆・大豆粕のシカゴ定期は、4月下旬に南米産大豆の豊作見通しや、米国の天候不良によるとうもろこしの作付け遅延に伴う、大豆の作付増加の見通しを受け、軟調に推移した。5月にはいると、豊潤な大豆の在庫背景を受けて下落する展開となった。また、米中貿易摩擦に関して、トランプ大統領が対中関税を5月10日に引き上げることを表明したことで、相場は続落している。引き続き不透明な米中貿易協議の動向に注目が必要である。
3. 米国ガルフー日本間のパナマックスの用船料は、日本の大型連休や、中国を含む諸外国でも連休となったことからスポットでの商売は閑散としたものとなり、船腹需給は緩和に向かい小幅な動きで推移した。



【北見施防協試験結果のコーナー】

～このコーナーでは過去に行った北見施防協試験※の結果(概要)を中心にご報告いたします～

※北見施防協試験とは？…管内農協・網走農業改良普及センター・ホクレン北見支所で、「北見施肥防除合理化推進連絡協議会(北見施防協)」を組織しており、肥料・農薬に関する新資材や新技術に係る現地試験ほ場を設置し、その結果を取りまとめています。

飼料用とうもろこし 施防協試験(平成30年度実施)

除草剤 **ブルーシアフロアブル** (規格: 500ml)

平成29年度はゲザプリムフロアブル(使用時期: は種後～2～4葉期)との混用でしたが、平成30年度はブルーシアFLが**6～7葉期まで使用時期が適用拡大**したことから、バサグラン液剤との混用試験を実施しました。

※環境によっては、薬害が発生する可能性があります。試験では収量に影響はありませんでした。

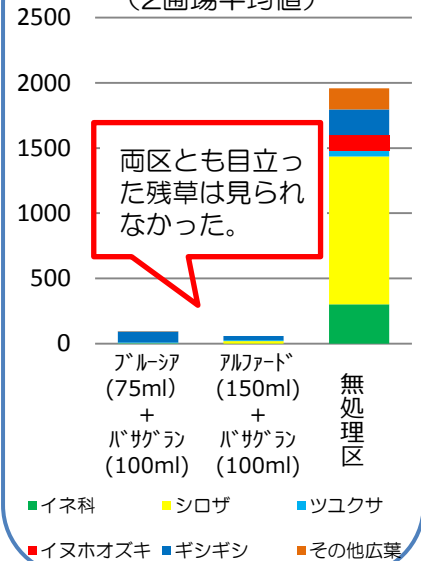
◆ 本剤特長 ◆

- ① 1年生イネ科および広葉雑草に高い効果を発揮します。
- ② 各種とうもろこしの生育に影響が少なく、高い選択性を示します。

適用内容: 2017年12月 高葉齢にも適用拡大!

作物名	適用雑草	使用時期	10 a 当り使用量		使用方法	使用回数
			薬量	希釈水量		
飼料用 とうもろこし	1年生雑草	とうもろこし 3～5葉期 ただし、収穫 45 日前まで	40～50 ml	100 l	雑草 茎葉 散布	1回
		とうもろこし 6～7葉期 ただし、収穫 45 日前まで	50～75 ml	100～150 l		

湧別町農協試験結果結果 (2圃場平均値)



● 「ホクレンRTKシステム」の紹介動画を公開

《ホクレン本所 営農支援推進課》

GPSガイダンスシステムで高精度な農作業を行うために必要となる補正情報をスマートフォンなどで簡単に利用できる「ホクレンRTKシステム」が4月1日から本格稼働しています。現在、道内の24JA、利用者ID数約1,100(5月10日時点)がこの取組みに参加しており、今後も増加する見込みです。

この度、本システムの概要をわかりやすく紹介した動画を右記のURLで公開しました。システムに興味のある方はホクレン各支所営農支援室またはJAまでお問合せください。

新たな配信システムによる

ホクレンRTKシステム

インターネットを活用することで

「ホクレンRTKシステム」紹介動画
<https://vimeo.com/334238888>

● 担い手向け研修会（基礎技術&ICT等）を訓子府で開催

《ホクレン本所 営農支援推進課》

ホクレンでは、平成28年度より就農年数の浅い担い手生産者を対象とした研修会を実施しています。目的は「基礎知識の習得」「担い手同士のつながりを深める」ことです。

今年度から新たな研修テーマとして「基礎技術&ICT等」を設定しました。また、研修会場はホクレン訓子府実証農場とし、初めてオホーツク管内で実施することとなりました。生産現場で活用できるICT技術等の習得を目指し、下記の内容で実施予定です。参加を希望される方は、JAを通じてホクレン各支所営農支援室までお願いします。

【開催日時】 令和元年7月10日（水）13:00～11日（木）13:50（予定）

※1泊2日の合宿研修

【開催場所】 ホクレン訓子府実証農場（訓子府町字駒里184-7）

【受講対象】 ICT技術等の習得を目指す担い手生産者
（就農後、概ね5年以内）

【研修内容】 スマート農業の概要、リモートセンシングの基礎知識、自動操舵・ガイダンスの基本操作、小麦の安定生産に向けて、自動操舵トラクターの試乗（大型・中型）、可変施肥のデータから運用までの実演、総合討論（意見交換）等

【申込方法】 JAを通じて、ホクレン各支所の営農支援室へ。

● 2019年度オホーツク地域GAP導入推進セミナーの開催について

＜ホクレン北見支所 営農支援室＞

オホーツク地域のGAP導入の機運を高め、より一層のステップアップを図ることを目的としたセミナーが下記により開催されます。ご案内は6月にされますので、皆様ふるってご参加をご検討ください。

日時(予定) : 2019年7月1日(月) 13:00～16:30

内容(予定) : 「農業経営からみた農作業安全の考え方」を含むセミナー 及び 現地視察研修の2部構成

場所(予定) : 浜佐呂間活性化センター(セミナー)、現地近隣の認証農場(視察研修)

主催 : オホーツク地域GAP導入推進会議

(事務局: 北海道オホーツク総合振興局産業振興部農務課)

★内容に関してのお問い合わせやご意見・ご感想につきましては、ホクレン北見支所 営農支援室（担当: 林田）まで、メールにてお願いいたします。（アドレス: 11einousien@hokuren.jp）

～次号予告～

次号(平成31年度第4号)のテーマは『小麦』です。乞うご期待下さい！